

消 防 訓 練 等 計 画 書

年 月 日				
四国中央市消防長 殿				
届出者 住所				
電話 (番)				
氏 名				
実施日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分			
対象物住所				
対象物名称				
訓練(講習)の内容	1. 総合訓練 2. 部分訓練 (通報訓練・消火訓練・避難訓練) 3. その他			
参加人員	名	担当者氏名	電話 (番)	
消防職員等	消防職員			
派遣の内容	消防隊	要・否	要請車種	台
訓練(講習)概要				
※ 受付欄			※ 経過欄	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 - 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 3 訓練(講習)概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 4 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 5 避難訓練については、図面を添付すること。

訓練概要

1. 目的

_____から、火災等が発生した場合に、防火対象物の人的組織力、消防用設備等を効果的に使用して、人的、物的被害の軽減を図ることを目的に訓練を行うものである。

2. 想定

_____の_____から_____により出火し_____へと延焼拡大したという想定。

3. 訓練内容と任務分担

ア 第一発見者

火災を発見した_____は、「火事だ～」と2回以上叫び周囲の者に火災の発生場所等を大声で知らせるとともに、_____へ駆けつけ、又は_____で_____に伝える。

※ 自動火災報知設備により火災を発見した_____は、発生場所と警戒区域図を照合し現場を確認、その状況を_____へ知らせる。

イ 通報係

_____は現場を確認中であれば放送設備等を使用して予備放送を行う。

また、火災であれば火災の状況等を建物内に居る者に対して知らせるとともに、消防署へ火災発生場所、火災の状況、避難状況等を119通報する。

または、非常通報装置のボタンを押す。

(消防署へ通報する場合は、頭に訓練火災と2回言う。)

ウ 初期消火係

_____以下_____名は、_____にある消火器と_____を使用して、初期消火体勢をとる。

(消火器は、15秒間・屋内消火栓は、30秒以上構える。)

消火活動後、火災状況を自衛消防隊長_____へ報告する。

エ 避難誘導係

_____以下_____名は、建物内に居る_____に対して、火災現場から反対方向へ安全に避難誘導を行うとともに、逃げ遅れが居ないか確認し自衛消防隊長に報告する。

(確認場所としては、特に建物内のトイレ・防火シャッター等で区画される所など)

ホテルの場合；夜間は「火事だ～」と叫びながら、客室のドアを叩き実施し、廊下に出てきた客を避難口等安全な所へ誘導する。

オ 救護係

_____以下_____名は、火災等によって負傷した_____名に応急処置を施し、保護するとともに、救急要請の可否を合わせて自衛消防隊長に報告する。

カ 物品搬出係

_____以下_____名は_____の重要書類、非常持ち出し物品を安全な場所に搬出し、自衛消防隊長へ異常の有無を報告する。

キ 警戒係

_____以下_____名は、建物内に延焼のおそれのある物件の管理と盗難、防火戸、消防用設備等の機能の保持を行い、その異常の有無を自衛消防隊長に報告する。

ク 自衛消防隊長_____は、火災の状況を把握し、人命優先の上その指揮にあるとともに、公設消防隊が到着したら、出火場所、避難の状況、自衛消防活動状況、危険物等の報告を行う。